

前橋汀子

ヴァイオリン・リサイタル



©藤山紀信

プログラム

- ♪ベートーヴェン：
ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調
op.24 「春」
- ♪ブラームス：
ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調
op.78 「雨の歌」
- ♪ドヴォルザーク：わが母の教え給いし歌
- ♪ドヴォルザーク：スラヴ舞曲 op.72-2
- ♪クライスラー：
プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
- ♪クライスラー：中国の太鼓
- ♪マスネ：タイスの瞑想曲
- ♪ショパン（サラサーテ編）：ノクターン op.9-2
- ♪サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン

※曲目・曲順は変更となる場合があります。



ピアノ：松本和将

2020年10月18日(日)

午後2時開演 (午後1時30分開場)

A席：3,900円 B席：3,500円 学生：2,900円

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳、佐倉国際交流基金会員証をお持ちの方は、各席料金より10%割引にてご購入いただけます(学生を除く)。

※無料託児室あり、公演2週間前までに要予約。

※未就学児の入場はできません。

※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入後のチケットの払い戻し、変更、キャンセルはお受けできません。あらかじめご了承ください。

主催・会場

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】

● **佐倉市民音楽ホール** (座席数:667席)
(京成うすい駅下車徒歩5分)

☎043(461)6221

〒285-0837 佐倉市王子台1-16



インターネットからの予約や、コンビニエンスストアでの受取りもご利用いただけます。詳しくは佐倉市民音楽ホールのホームページをご覧ください。
<http://www.city.sakura.lg.jp/sakura/ongaku-hall/>

(会員登録(無料)が必要になります。)

(学生及び左記割引のチケットは、インターネットからのご予約ができません。窓口またはお電話にてご予約ください。)

Profile

前橋 汀子 *Teiko MAEHASHI (Violin)*

2017年に演奏活動55周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味に溢れる演奏で、多くの聴衆を魅了してやまない。5歳より小野アンナ、斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに学んだのち、17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院（現サンクトペテルブルク音楽院）創立100年記念の一環として、日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで3年間学んだ。

その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ等の指導を受け、さらにスイスでヨーゼフ・シゲティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。

その後、国内外で活発な演奏活動を展開。ストコフスキー、メータ、ロストロポーヴィチ、ケンペ、サヴァリッシュ、マズア、小澤征爾ほか多彩なマエストロたちのもと、ベルリン・フィル、英ロイヤル・フィル、フランス国立管、クリーヴランド管、イスラエル・フィル等を始めとする世界中のオーケストラと協演している。室内楽の分野でも、ピアノのイェルク・デームス、クリストフ・エッセンバッハ、アナトール・ウゴルスキ等の名手たちと共演している。

近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開、好評を得ている。一方、J.S.バッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」全曲演奏会、ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会、そして2014年秋からはチェロ：原田禎夫、ヴァイオリン：久保田巧、ヴィオラ：川本嘉子と共にベートーヴェン：弦楽四重奏曲の演奏会を行うなど、室内楽にも意欲的に取り組んでいる。

レコーディング活動も活発に行い、デビューアルバム『チゴインエルワイゼン』、文化庁芸術作品賞を受けた『バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集』、その他『ヴィヴァルディ：四季』、『メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲』、『ヴァイオリン小品100曲選シリーズ全6巻』等々がある。最新CDは自身2度目の録音となる「バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集」が2019年8月に発売。著書「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」が早川書房より出版されている。

2004年日本芸術院賞、2007年第37回エクスンモービル（現・JXTG音楽賞）音楽賞洋楽部門本賞受賞。2011年春の紫綬褒章、2017年春の旭日小綬章を受章。

使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グァルネリウス。

松本 和将 *Kazumasa MATSUMOTO (Piano)*

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。2001年ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位入賞。

これまでにプラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行う。ソロでは2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行う。

これまでにレコード芸術の特選盤を含む17枚のCDをリリース。

東京芸術大学非常勤講師（2008～2012）、くらしき作陽大学特任准教授として、後進の指導にもあたっている。

谷口厚子、芦田田鶴子、故中島和彦、角野裕、御木本澄子、パスカール・ドヴァイヨンに師事。

岡山県芸術特別顕賞、倉敷市芸術文化栄誉章、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギー音楽賞受賞。

多彩な輝きを放ち続けるピアニストとして、観客はもちろん、世界中の演奏家達からも注目を集めている。

公式HP：<http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ：<http://kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>